

平成 28 年度 今宿西地域ケアプラザ事業実績評価

平成 28 年度の評価	
全般	<ul style="list-style-type: none"> ・地域包括支援センター職員及び生活支援コーディネーターに欠員が生じた期間がありました。職員体制の安定化を図ってください。
地域活動交流部門	<ul style="list-style-type: none"> ・横浜市基準を満たしています。 ・今宿地区中学生ボランティア活動部事業は事業開始から 4 か年目を迎え、登録生徒数も安定し地域に根付いた活動になりました。また、今年度は中学生ボランティア活動部を卒業した高校生向けにボランティア活動をする機会を設けたり、ジュニアボランティア（小学生）に中学生ボランティア活動部の宣伝を行うなど次世代のボランティア育成をさらに推進しました。次年度は生活支援コーディネーターとも協力し、ボランティア養成講座の実施や登録団体への働きかけ等を通じて幅広い世代のボランティア育成が進むことにも期待しています。 ・連合町内会自治会をはじめとする地域の会議や行事への積極的な参加や地域支え合い連絡会の開催などを通じて、地域との顔の見える関係づくりが進んでいます。今後も地域のなかでより親しまれ、相互に連携・支援できる関係になれるよう期待しています
地域包括支援センター部門	<ul style="list-style-type: none"> ・横浜市基準を満たしています。 ・「医療介護ネットワークづくり懇談会」を 2 回開催し、顔の見える関係の構築に力を入れました。地域の医療・福祉関係者間での連携強化が、個別支援の充実につながっています。協力体制を継続・強化するため、次年度以降もこの取組を継続していかれることを期待しています。 ・認知症支援では認知症サポーター養成講座を地域内の小中学校や自治会で開催し、認知症への理解や対応の仕方等を普及啓発されました。地域での見守りができる体制づくりの構築を今後も継続されることを期待しています。
生活支援体制整備事業	<ul style="list-style-type: none"> ・横浜市基準を満たしています。 ・既に地域でボランティア活動を開始する動きがあったため、生活支援コーディネーターは、活動周知や先行事例について情報提供する等、活動を支援しました。ボランティア育成や元気づくりステーションの立ち上げ支援など、広範囲にわたって事業を推進しました。今後は、横浜市が創設予定の住民主体の支援を視野に入れて、さらに活動団体への支援を継続されることを期待しています。
<p>< 評価 (S/A/B の 3 段階) ></p> <p style="text-align: center;">A</p>	